

最上川上流水防災意識社会再構築ビジョンの取組 H29.8版

■戦後最大規模「羽越水害」から50年を契機とした『最上川防災フェア』の開催 ～洪水に対する防災意識、逃げる意識の向上～

- ・羽越水害を振り返り住民自身による自発的な避難行動の重要性を考えるキッカケになることを期待
- ・今年度、防災学習に取り組んだ地元小学生が自らの思いでステージから発信〔防災宣言〕

最上川防災フェア

- 日時 8月26日（土） 10:00～15:30
- 場所 シェルターなんようホール
- 主催 羽越水害50年実行委員会

- 内容 オープニングセレモニー、屋内外展示、ステージイベント
- 防災講座/ ①防災映像『羽越水害を振り返る』
- ②防災講演『豪雨災害にどう備えるか』：気象予報士 森田正光
- 学習報告会/ ①飯豊町立手ノ子小学校『一日ダム管理所長』
- ②南陽市立赤湯小学校『こどもまち歩き！』
- 子ども達からの防災宣言



市民の声

- ・子供と一緒に、もし水害があったらどういう所に避難したら良いかを
確認して、安全に生活できるようにしたいと思います。
- ・多くの人たちに、町全体を守ってもらっているということがわかりました。
- ・子供たちには何年経っても忘れてほしくないと思う。
- ・改めて羽越水害のことが知ることができたので、羽越水害のことを
忘れないでいけると思う。

防災宣言

羽越水害から50年
水害は、昔のことではありません。
今日もどこかの町で
明日、この町でおこるかもしれません。
ぼくたち
わたしたちは
水害のために ふせぐこと
とめること
にげることをしっかり考え、取り組みます
これからの未来もニコニコ過ごせる町になるよう
水害に強いまちづくりのために
わたし達の合い言葉
か 家族でかくにんひなん場所
わ わすれるな 水害のおそろしさ
は ハザードマップで守ろう命
と とつぜんの雨には サイレン注意
も 物のじゅんぴ 心のじゅんぴで そなえよう
かわはとの合言葉をしっかりまもっていくことを
せんげんします。